



平成 29 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 M R T 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 馬 場 稔 正  
(コード番号：6034 東証マザーズ)  
問 い 合 わ せ 先 取締役 西 岡 哲 也  
TEL. 03-6415-5295

### 業績予想 (IFRS) の開示に関するお知らせ

当社は、下記のとおり、遠隔診療サービスの成長に向けた事業基盤の強化を目的とする計画、併せて国際会計基準（以下、「IFRS」という）の任意適用に関わる調整を踏まえて、未公表としておりました当社グループの 2018 年 3 月期（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）の連結業績予想（IFRS）を本日開催の取締役会で決議しましたので、お知らせいたします。

#### 記

1. 2018 年 3 月期の連結業績予想 (IFRS) (2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1 株当 り当期利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	円 銭 —
今回修正予想 (B)	1,520	30	20	10	1.91
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2017年 3 月期)	1,154	156	141	88	16.97

(注) 1. 2017 年 5 月 9 日に公表した「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の連結業績予想については、本資料に記載の連結業績予想 (IFRS) に置き換わるものであります。

2. 前期通期実績は、日本基準に基づく数値を記載しております。

## 2. 業績予想の説明

2018年3月期の連結業績予想につきましては、2017年6月30日に公表した「平成29年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」において精査中でありましたIFRSの任意適用に関わる調整、遠隔診療サービスの成長に向けた事業基盤の強化を見込んでおります。

### (1) 遠隔診療サービスの事業基盤の強化

当社グループは、非常勤医師紹介の成長と併せて、2017年4月に有償で医療機関にサービス提供を開始した「遠隔診療ポケットドクター」の普及に取り組んでまいりました。

さらに、2017年7月14日に、厚生労働省医政局長から遠隔診療の取扱いにおける周知、明確化を目的とした通知が公表されるなど、遠隔診療の分野を取り巻く外部環境は急速に変化しております。

このような状況の中、当社グループは、遠隔診療サービスの需要拡大が想定されることから、「遠隔診療ポケットドクター」のサービス拡大を早期に実現するため、積極的な投資による事業基盤の強化に取り組んでまいります。これにより、「遠隔診療ポケットドクター」の早期収益化を図ってまいります。

計画の概要は、以下のとおりであります。

- (i) 営業体制強化に向けた人材の採用、育成
- (ii) アライアンス、パートナーシップによる販売網の構築
- (iii) 全国展開に向けた大阪営業所及び福岡営業所の増員

### (2) IFRS 適用による影響

IFRS 適用における主要な影響は、以下のとおりであります。

#### (i) のれん償却

IFRS では、「のれん」の償却は行われなため、「のれん」を一定期間にわたり償却する日本基準と比較して「営業利益」が増加する見込みとなります。

#### (ii) 退職給付に係る費用

IFRS では、退職給付費用について、確定給付債務の現在価値を予測単位積増方式により算定し、当連結会計年度において発生したと認められる額を費用認識するため、自己都合による期末要支給額の増減額を費用認識する日本基準と比較して「営業利益」が減少する見込みとなります。

#### (iii) 未払有給休暇に係る債務

IFRS では、日本基準にて未認識の未払有給休暇に係る債務を認識しているため、日本基準と比較して「営業利益」が減少する見込みとなります。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報が得られた判断に基づいており、記述されている業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上